

いちまでいん ちゃーがんじゅー県民宣言

私たちの住む沖縄県は、温暖で暮らしやすい気候や島野菜等の伝統的食文化に加え、他の地域の方々とも分け隔てなくつきあう「いちゃりばちよーで一」の県民性を持ち、「ゆいまーる」とよばれる地域のネットワークで、社会的な弱者も共に支えあってきました。

さきの戦争により甚大な被害を受け、保健医療に関する資源が絶対的に不足するなか、人材を育成・確保して、官民一体となって感染症対策や環境衛生対策等を推進した結果、戦後50年目にあたる1995年には世界長寿地域宣言を成し遂げました。

県民の生活は豊かに、そして便利になりましたが、食の欧米化や車社会の影響で肥満率は上昇し、近年、脳血管疾患、急性心筋梗塞、肝疾患等の生活習慣病や自殺、飲酒絡みの交通事故等により、働き盛り世代の死亡率が全国より高くなってしまいました。

このまま、家庭や職場の大黒柱を失う状態が続けば、沖縄全体の活力の源を失うことになりかねません。沖縄21世紀ビジョンに掲げる「健康・長寿おきなわ」達成のため、今こそ、県民一人ひとりが主体的に行動し、社会全体で健康づくりに取り組む必要があります。

私たちはここに宣言します。

合言葉は「いちまでいん ちゃーがんじゅー^{※1}」

1. 「ゆいまーる」の心で、健康づくりに関する地域のネットワークに参加します
1. 官民一体となって、働き盛りの健康づくり活動に積極的に取り組みます
1. 便利な生活を追求するばかりでなく、健康的な生活習慣を身につけます
1. 家族や仲間、地域の人々とともに社会全体に健康づくりの機運をおこします

※1 いつまでも元気で長生き